

# 第17回柳波賞

本市の名誉市民である童謡作詞家の林柳波を顕彰するため、童謡詩を全国に呼び掛けて募集します。

柳波の千余編を超える詩の中には、ふるさと沼田や母を詠った詩(帰省「三年坂」「天桂寺の一本橋」「山のお宿(赤城山)」「母を懐ふ」など)が多数あり、柳波の心の中にはふるさとの思い出が深く刻まれています。

柳波に習い、あなたの心を童謡詩に表現してみませんか。

※2編以上提出した場合、審査

の対象外となります

の制限なし

用紙(A4版)を縦書き使用。

原稿用紙に題名と作品、欄外

に郵便番号、住所、氏名(ペンネームも可)、年齢、職業

(小中学生は学校名と学年)、

電話番号を記入し、郵送(〒

378-8501沼田市教育

委員会社会教育課内柳波賞

係、またはメール(yuha17@

city.numata.gunma.jp)で社

会教育課社会教育係へ

※作品は鉛筆書きの場合は濃い

文字で記入し、ワープロの場

合は20字×20行で、タイトル

を除いて60行以内

※原稿用紙の枠内には題名と作

品のみ記入してください

※原稿用紙が2枚以上の場合は、

のりやホチキスは使用せず、

ゼムクリップで留めること

締め切り 9月4日(金)

※郵送は当日の消印有効

審査員 岡田芳保さん(詩人、

黒木瞳さん(女優)、高階紀一

さん(詩人)

特別審査員 沼田市長

入賞

柳波賞 1作品：副賞20万円

※小中学生の部から選ばれた場

合は図書カード3万円分

優秀賞 一般の部：1作品(副

賞10万円)、小中学生の部：

1作品(副賞図書カード2万

円分)

佳作 一般の部：5作品、小中

学生の部：8作品

応募作品の取り扱い 応募作品

は返却しません。入賞作品の

著作権は、表彰式までは本市

と市教育委員会に帰属します

問い合わせ 社会教育課社会教

育係 ☎内線3334へ



林 柳波

～林柳波の功績をたたえます～  
あなたの心のふるさとを童謡詩にしてください

## 第12回おのちゅうこう ふるさと文学賞作品募集

ふるさとの自然や歴史について、学校や地域の行事などに参加して感じたこと、家族や友達と体験したことなどを詩や作文にして応募してください。

応募作品 詩・作文

※作品は各部門1人1作品までです。原稿用紙5枚以内とし、自作・未発表のものに限ります

応募部門 小学生/詩・作文の部、中学生/詩・作文の部

申し込み 9月10日(木)までに、白沢公民館内しらさわ望郷クラブ事務局(〒378-0121沼田市白沢町高平1番地)へ

応募作品の取り扱い

①応募作品は返却しません  
②応募の際に提供される個人情報は、ふるさと文学賞に関して使用するほか、市や主管団体の発行物などに発表されることがあります

問い合わせ 白沢公民館 ☎③2291へ



第11回表彰式の様子

## 沼田市ゆかりの芸術家 ～蘇るアーティスト事業～ 野沢寥洲の作品募集

市では、野沢寥洲展覧会を計画し、その作品を募集します。この事業は、本市ゆかりの芸術家の作品を掘り起こし、広く市民に紹介することにより、芸術文化の振興と発展に寄与することを目的とします。

本年度は、画家として利根沼田や県内をはじめとする美術の発展に尽力した、野沢寥洲の作品を紹介する予定です。作品や情報をお持ちの人はご連絡ください。

野沢寥洲(本名野沢健次郎)

明治22年、埼玉県春日部市に生まれ、昭和19年の疎開を機に沼田に移住。その後、利根美術協会や群馬美術協会創立に尽力し、県展の委員としても活躍するなど、地方文化の振興と後進の指導を行いました。

作品の多くを、市内小中学校や諸官庁に寄贈しており、沼田駅に掲げてある沼田八景の一つ、「雪の上越連峯」もその1枚です。

娘の野沢雅子さんは、「ゲゲゲの鬼太郎」や「ドラゴンボール」などの声でおなじみの声優として活躍されています。

問い合わせ 社会教育課社会教育係 ☎内線3332へ



「雪の上越連峯」野沢寥洲作

寥洲

旧沼田貯蓄銀行関連資料  
と明治・大正期の物品を  
探しています

群馬県指定重要文化財である旧沼田貯蓄銀行は、老朽化のため解体され、材木町から上之町への移築が進められています。旧沼田貯蓄銀行は、利根沼田の金融史における重要な建造物ですが、その資料はあまり残されていません。

移築後の旧沼田貯蓄銀行に展示可能な、沼田貯蓄銀行関連資料や明治・大正期の調度品を探しています。資料や情報をお持ちの人はご連絡ください。

対象

①旧沼田貯蓄銀行関係資料  
②明治・大正期の物品(電話、金庫、タイプライター、ラジオ、時計など)  
問い合わせ 社会教育課文化財保護係 ☎⑦565へ

## 生方記念文庫企画展 人形浄瑠璃・文楽 ～人形の世界～

生方家が所蔵する人形浄瑠璃や文楽に関する資料は、首(頭部)100点以上、手足、衣装、舞台背景図、小道具など多数あります。



今回の企画展では、20点以上の首、衣装、舞台背景図などを展示します。

とき 6月11日(木)から9月1日(火)までの午前9時30分～午後5時

※休館日は毎週水曜日と7月21日(火)(8月5日(水)は開館します。駐車場は3台分有ります)

観覧料 大人320円、小中学生160円

関連行事

■講演会

とき 7月25日(土)午後2時

演題 民俗芸能人形芝居を語る

講師 金井竹徳さん(沼須人形芝居あけほの座座長)

定員 30人(当日先着順)

※参加には観覧料が必要です

■子どもによる人形芝居

とき 8月8日(土)午後2時

演目 三番叟、傾城阿波の鳴門巡礼歌の段

定員 30人(当日先着順)

※参加には観覧料が必要です

■夏休み子どもお絵描き教室～人形を描いてみよう～

とき 8月9日(日)午後1時～3時

講師 小林恵美子さん(シャローム造形教室沼田教室)

対象 小学生

定員 20人

参加費 500円(観覧料・材料費含む)

申し込み 電話、または直接生方記念文庫窓口へ

問い合わせ 生方記念文庫 ☎②3110へ

旧沼田貯蓄銀行完成予想図

